

信夫山移動無線中継所の「IEEEマイルストーン」銘板贈呈式について

しのぶやま
信夫山移動無線中継所^{※1}について、世界的な電気・電子技術の専門家組織であるIEEE^{※2}より、2025年9月25日、電気・電子・情報・通信分野の歴史的業績を認定する制度である「IEEEマイルストーン^{※3}」に認定されました（[2025年9月29日お知らせ済み](#)）。

これを受け、2026年4月21日、仙台市内の会場においてIEEEマイルストーンの銘板贈呈式が開催され、2020年度IEEE会長の福田敏男氏より、当社常務取締役の阿部公哉に銘板が贈呈されました。

なお、本日（4月22日）から7月20日まで、東北電力グリーンプラザ（宮城県仙台市）の「とうほく文化情報コーナー」において、今回贈呈された銘板と信夫山移動無線中継所のIEEEマイルストーン認定を紹介するパネルを展示しています。

- ※1. 信夫山移動無線中継所は、1958年に東北電力株式会社が信夫山（福島県福島市）の山頂に設置した配電線保守用の無人移動無線中継所であり、日本で初めて電源に太陽電池を導入し、実用化したもの（現在、同中継所の設備はすべて撤去済み）。当社は、2020年の分社化以降、東北電力株式会社より移動無線通信事業を継承しており、信夫山移動無線中継所に関する記録等を調査した結果、IEEEマイルストーン認定条件に該当すると判断し、2025年6月に申請を行なった。
- ※2. IEEE（正式名称：Institute of Electrical and Electronics Engineers）アメリカ合衆国に本部のある世界最大の電気・電子技術者による非営利団体組織（学会）であり、電気・電子・情報・通信分野において、先端的な取り組みがなされ、各々の技術分野で指導的な役割を担っている。
- ※3. IEEEマイルストーン
IEEEが、電気・電子・情報・通信分野の画期的なイノベーションの中で、社会や産業の発展に多大な貢献をした歴史的業績を認定する制度として、1983年に制定したもの。

以上



贈呈されたIEEEマイルストーン銘板

IEEE MILESTONE

日本初の太陽電池駆動設備、1958年

1958年、東北電力株式会社と日本電気株式会社（NEC）は信夫山移動無線中継所に日本初の太陽電池パネルを設置しました。当初は70Wの発電量で、4.5Wの太陽電池モジュールを24時間365日で稼働させることができました。この先駆的な送配電網と切り離されたシステムは、日本における太陽エネルギーの実現可能性を実証しました。また、太陽光発電と蓄電池の研究の進歩にもつながり、日本の持続可能なエネルギー革新の継続的な取り組みに大きく貢献しました。

（東北電力ネットワーク参考訳）

IEEEマイルストーン銘板の日本語訳



銘板贈呈の様子

(左：当社常務取締役 阿部公哉、右：2020年度IEEE会長 福田敏男氏)



信夫山移動無線中継所（現在は撤去済み）